

計画事業番号	00314	事務事業名	生涯学習支援情報システム整備事業	担当部署	教育部文化課	電話	372-7667
--------	-------	-------	------------------	------	--------	----	----------

## 【基本情報】

事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		根拠法令等	図書館法・社会教育法			
事務事業開始年度	平成10年度		個別計画等	北広島市教育基本計画 2011-2020			
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単区分	単独	新規継続区分	継続

## 【事業概要】

1 総合計画体系	(第 2 章) 人と文化を育むまち	
	(第 4 節) 社会教育の充実	
	(施策 2 ) 学習機会の充実	
2 対象	生涯学習支援情報システム	
3 目的と内容	生涯学習支援情報システムを運用し、図書館及び市内公共施設が持つ学習機能の充実を図るとともに、使用料の管理など安全で安心できる施設運営を補助する。	
4 実施内容(手段)	28年度まで	生涯学習支援情報システムの運用(40施設) ①図書館・4分館の5施設 (本館・大曲分館・西の里分館・西部小分館・住民センター分館) ②学校図書館15施設 (小学校8校・中学校6校・陽香分校) ③施設予約端末19施設 (芸術文化ホール等) ④生涯学習情報端末1施設 (教育委員会)
	29年度	前年度の内容を継続

## 【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
「生涯学習支援システム」の活用による学習機会の充実 システム運用 道新記事閲覧システム	「生涯学習支援情報システム」の活用による施設運営の充実 システム運用 道新記事閲覧システム	「生涯学習支援システム」の活用による学習機会の充実 システム運用 道新記事閲覧システム	「生涯学習支援システム」の活用による学習機会の充実 システム運用 道新記事閲覧システム	「生涯学習支援システム」の活用による学習機会の充実 システム運用 道新記事閲覧システム	「生涯学習支援システム」の活用による学習機会の充実 システム運用 道新記事閲覧システム 生涯学習支援情報システムの更新		

## 【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性		評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。		「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	図書館システムや公共施設の予約管理システムは、施設運営上、不可欠なものとなっている。今後も、安定した運用とソフトウェアの適正な管理を継続し、更新を行っていくことが必要である。		
2次評価	現状継続	現状継続とする。		

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			11,378		11,379		11,390		11,390	
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	0		0		0		0	
		一般財源	11,378		11,379		11,390		11,390	
	① 合計	11,378		11,379		11,390		11,390		
人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.20	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00	
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
	④ =②×③	1,680	0	1,680	0	1,680	0	1,680	0	
総事業費①+④			13,058		13,059		13,070		13,070	

【評価指標】

指標名		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	① 端末設置施設数	目標値 実績値	40	40	40	40
	②	目標値 実績値				
	③	目標値 実績値				
	④	目標値 実績値				
成果指標	① 市民一人当たり導入費用 システム費用/人口	目標値 実績値	222	222	222	222
	② 【指標の定義(算式等)】	目標値 実績値				
	③ 【指標の定義(算式等)】	目標値 実績値				

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	・図書館システムや施設の予約管理システムは、各施設における市民サービスを効率的に行っていくための管理や情報提供など不可欠となっており、システムの整備、更新は妥当である。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	・図書館資料の管理や情報提供、各施設の利用管理や空き情報の提供や各種統計処理など、広く活用されており、施設の運営には欠くことのできない状況となっている。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	・現状に合わせたシステムの見直し、更新を行っていくことが必要である。施設の予約管理システムについては、更新を機会に管理体制等を検討していく。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	・システムの更新時には、各施設の実情に合わせた機能の充実などを検討し、今後も効率的かつ迅速に対応できるよう配慮する。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	------------------------------------	---

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	---	---